The background of the slide is a photograph of autumn foliage, showing trees with leaves in shades of yellow, orange, and red against a clear blue sky. The foliage is dense and fills most of the frame.

平成30年3月期  
(第16期)  
第2四半期決算説明会

平成29年11月8日  
株式会社ジーダット



1. 平成30年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 平成30年3月期通期予想

<b>売上高 前年同期比：11.9%増</b>	<b>営業利益</b>	<b>前年同期比：44.3%減</b>
	<b>経常利益</b>	<b>前年同期比：37.5%減</b>
	<b>四半期純利益</b>	<b>前年同期比：51.3%減</b>

ソリューション関連の売上高伸長等により利益率が低下

人員増員ならびに事業所移転等の影響で固定費は増加

海外市場向け売上高は引続き低水準だが前年同期比微増

# 上半期実績

－ 前年同期比・計画比 －

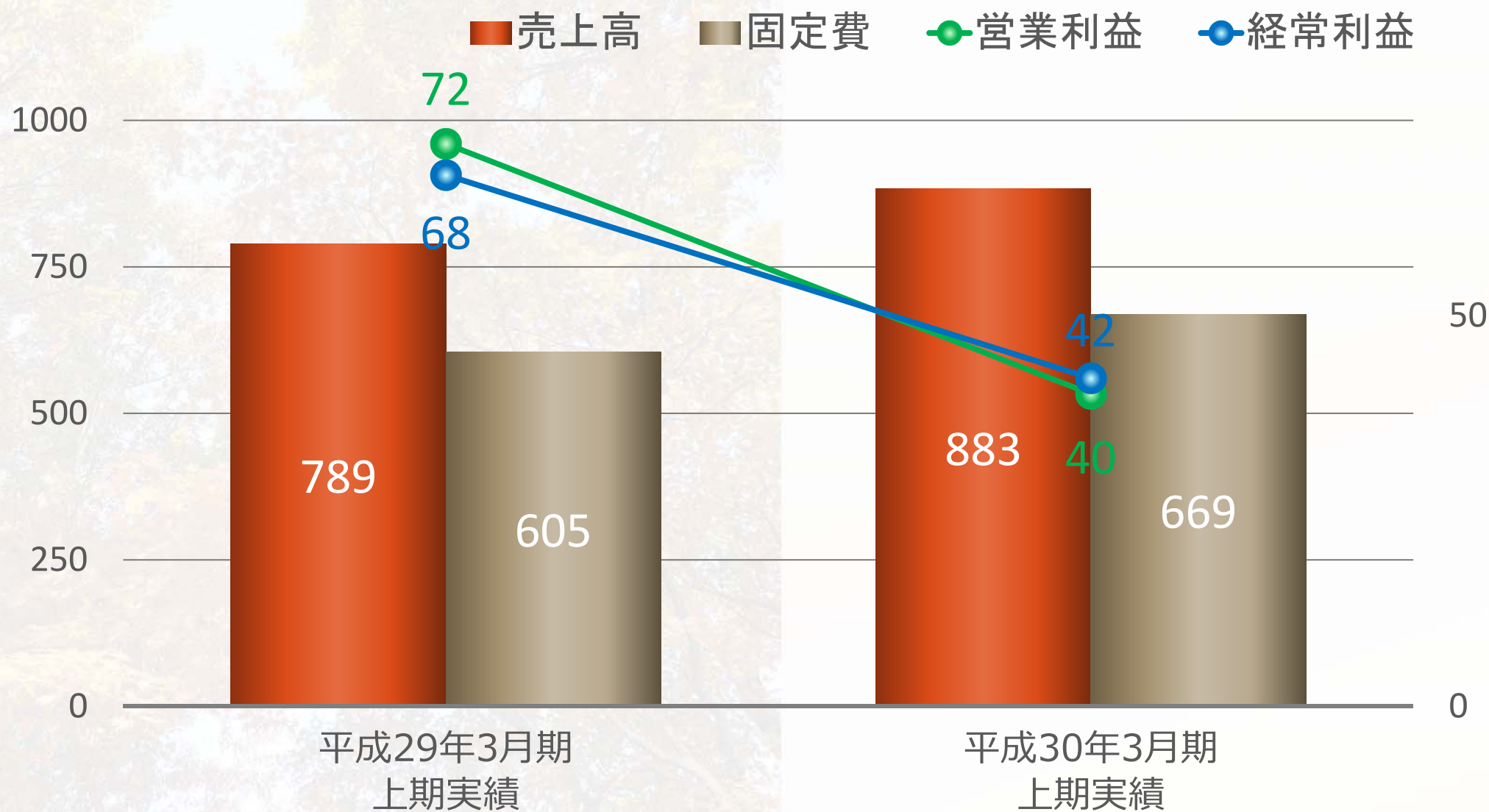
(単位：百万円)	平成29年3月期 上半期実績	平成30年3月期上半期			
		当初計画	実績	前年 同期比	計画比
売上高	789	940	883	+ 11.9%	△6.0%
売上総利益 (率)	554 (70.2%)	601 (63.9%)	539 (61.1%)	△2.6%	△10.2%
販売費及び 一般管理費	481	529	499	+ 3.7%	△5.7%
営業利益	72	71	40	△44.3%	△43.3%
経常利益	68	71	42	△37.5%	△39.9%
四半期純利益	68	48	33	△51.3%	△30.5%



# 上半期売上高・利益

－ 前年同期比 －

(単位：百万円)



# 貸借対照表

－ 前期末比 －

(単位：百万円)	平成29年 3月末	平成29年 9月末	差異		平成29年 3月末	平成29年 9月末	差異
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>I 流動資産</b>	2,909	3,150	241	<b>I 流動負債</b>	501	585	83
1 現金及び預金	2,465	2,493	27	1 買掛金	42	55	13
2 受取手形及び売掛金	207	247	39	2 未払法人税等	33	17	△16
3 電子記録債権	113	84	△28	3 賞与引当金	91	92	0
4 有価証券	－	200	200	4 前受金	252	324	72
5 仕掛品	12	16	4	5 その他	81	94	12
6 原材料	2	2	△0	<b>II 固定負債</b>	－	3	3
7 繰延税金資産	36	35	△1	資産除去債務	－	3	3
8 その他	70	70	△0	<b>負債合計</b>	<b>501</b>	<b>588</b>	86
<b>II 固定資産</b>	282	132	△149	<b>(純資産の部)</b>			
1 有形固定資産	15	19	3	<b>I 株主資本</b>	2,688	2,693	4
2 無形固定資産	10	10	△0	1 資本金	760	760	－
3 投資その他の資産合計	256	103	△153	2 資本剰余金	890	890	－
(1)投資有価証券	222	29	△193	3 利益剰余金	1,071	1,075	4
(2)繰延税金資産	9	11	1	4 自己株式	-32	-32	－
(3)その他	24	62	37	<b>III 新株予約権</b>	1	1	－
<b>資産合計</b>	<b>3,191</b>	<b>3,283</b>	91	<b>純資産合計</b>	<b>2,690</b>	<b>2,694</b>	4
				<b>負債純資産合計</b>	<b>3,191</b>	<b>3,283</b>	91

# キャッシュフロー計算書

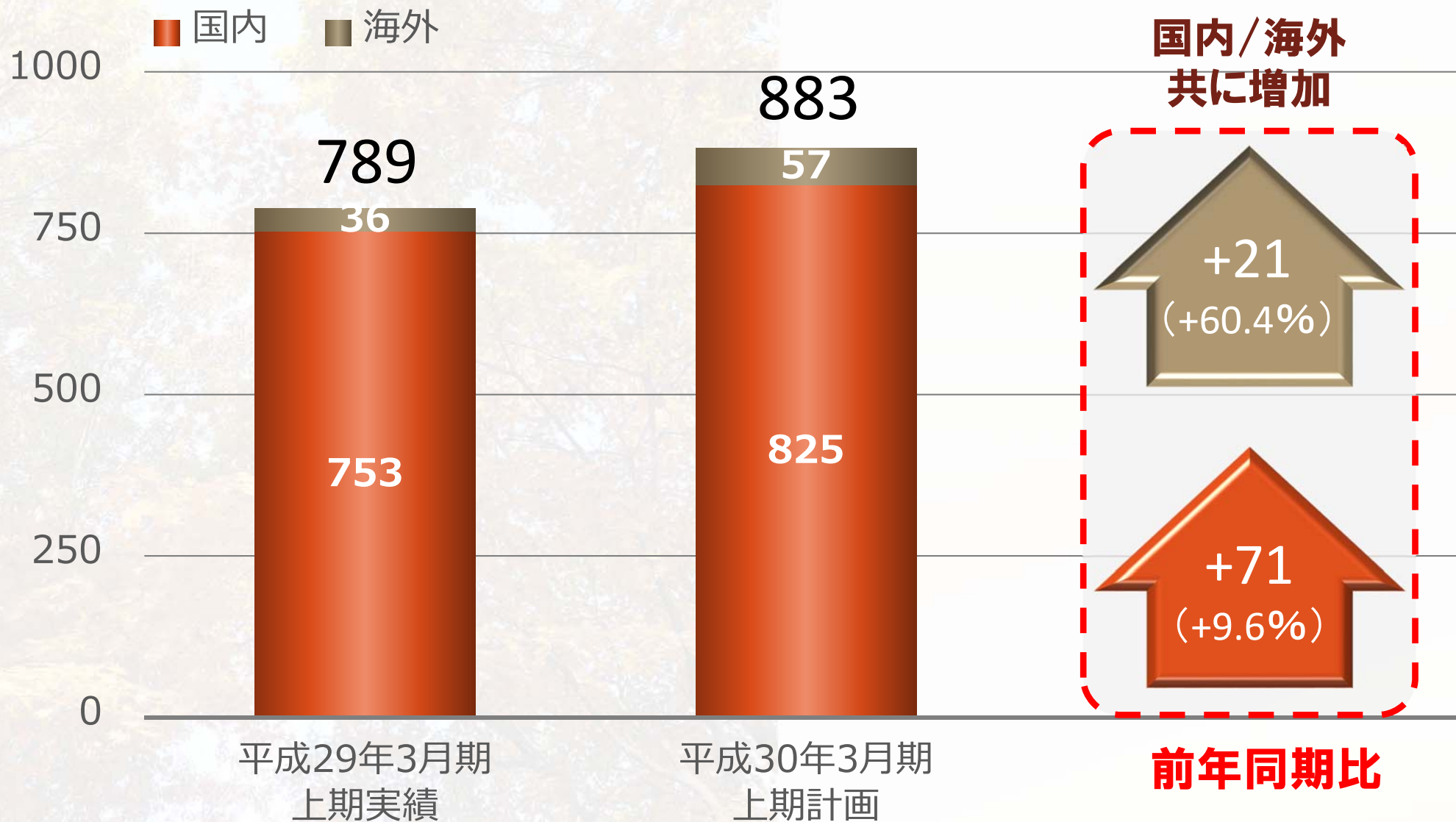
－前年同期比－

(単位：百万円)	平成28年4月1日 ～ 平成28年9月30日	平成29年4月1日 ～ 平成29年9月30日	差異
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	305	127	△178
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	297	敷金の差入 △70	△368
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△28	△28	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△0	2
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	571	27	△544
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,024	1,537	513
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,595	1,565	30

# 地域別売上高（国内/海外）

—前年同期比—

(単位：百万円)

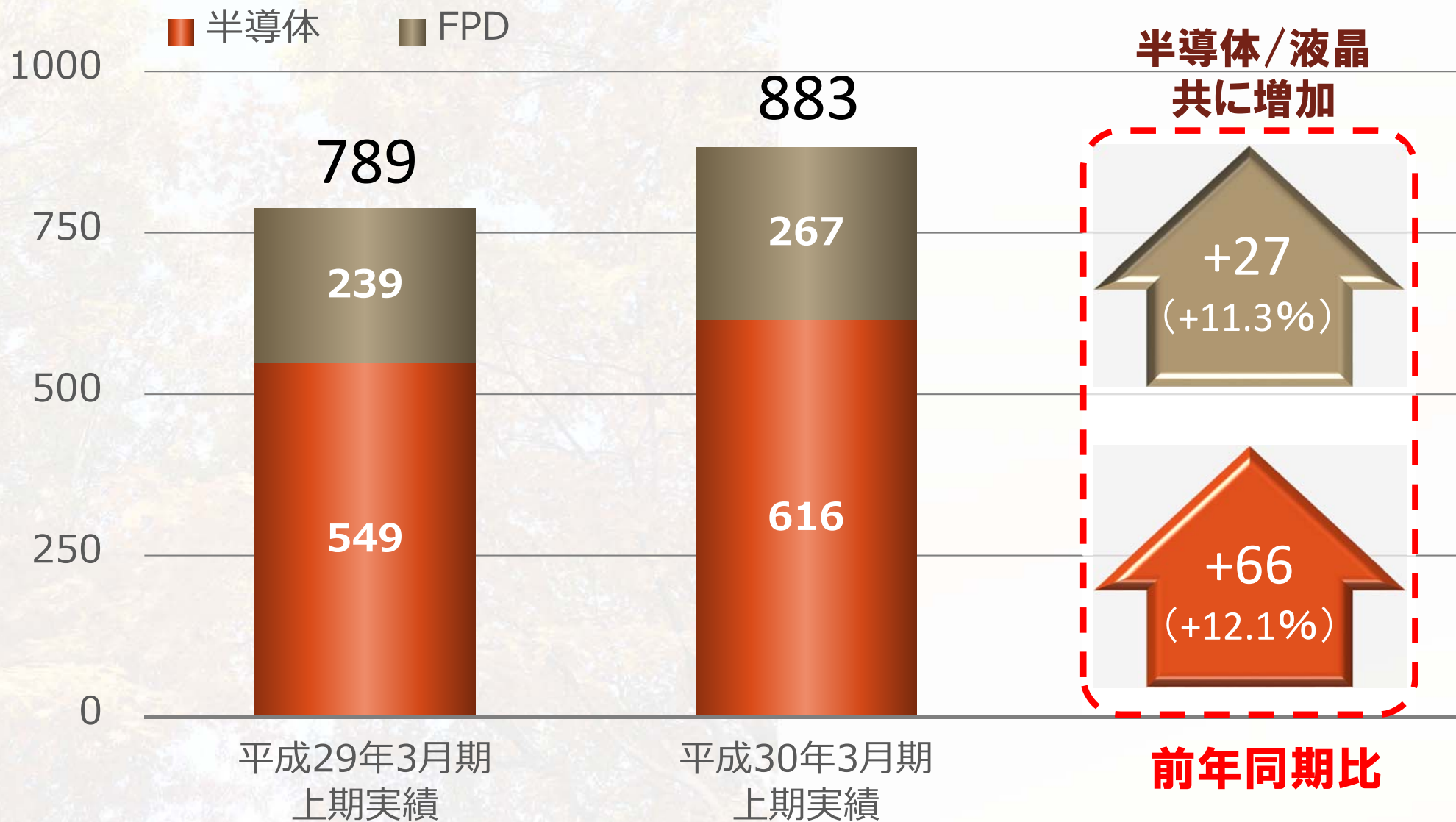




# 市場別売上高 (半導体/FPD)

—前年同期比—

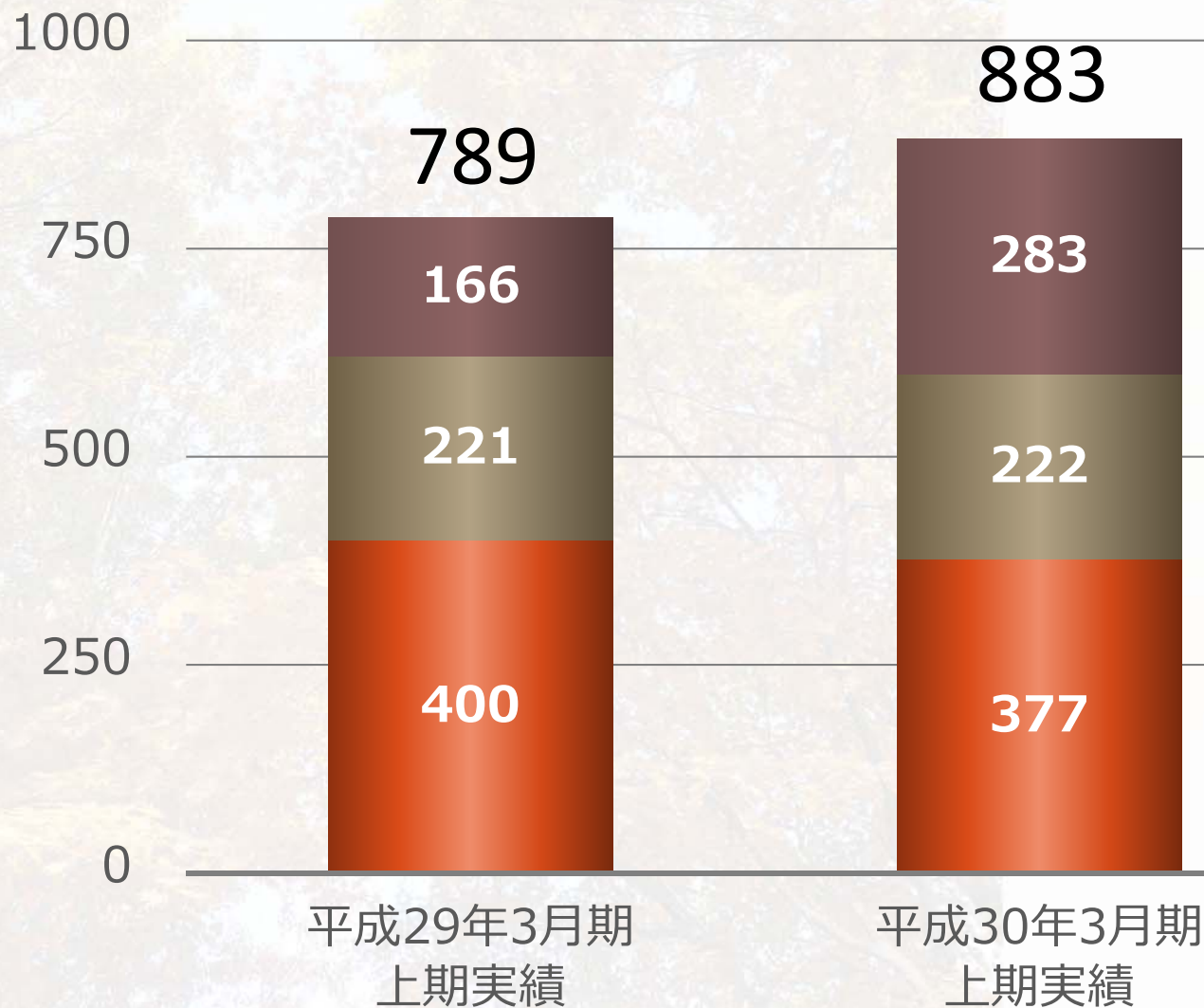
(単位：百万円)



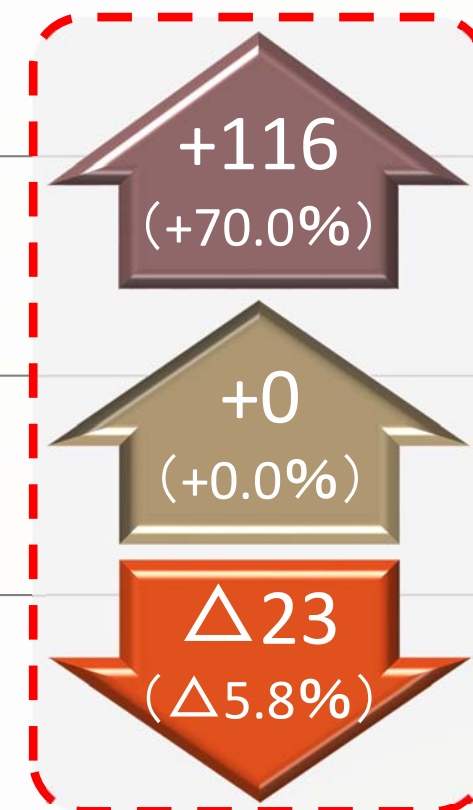
# 事業別売上高 (製品/サービス/ソリューション) -前年同期比-

(単位：百万円)

■ 製品 ■ サービス ■ ソリューション



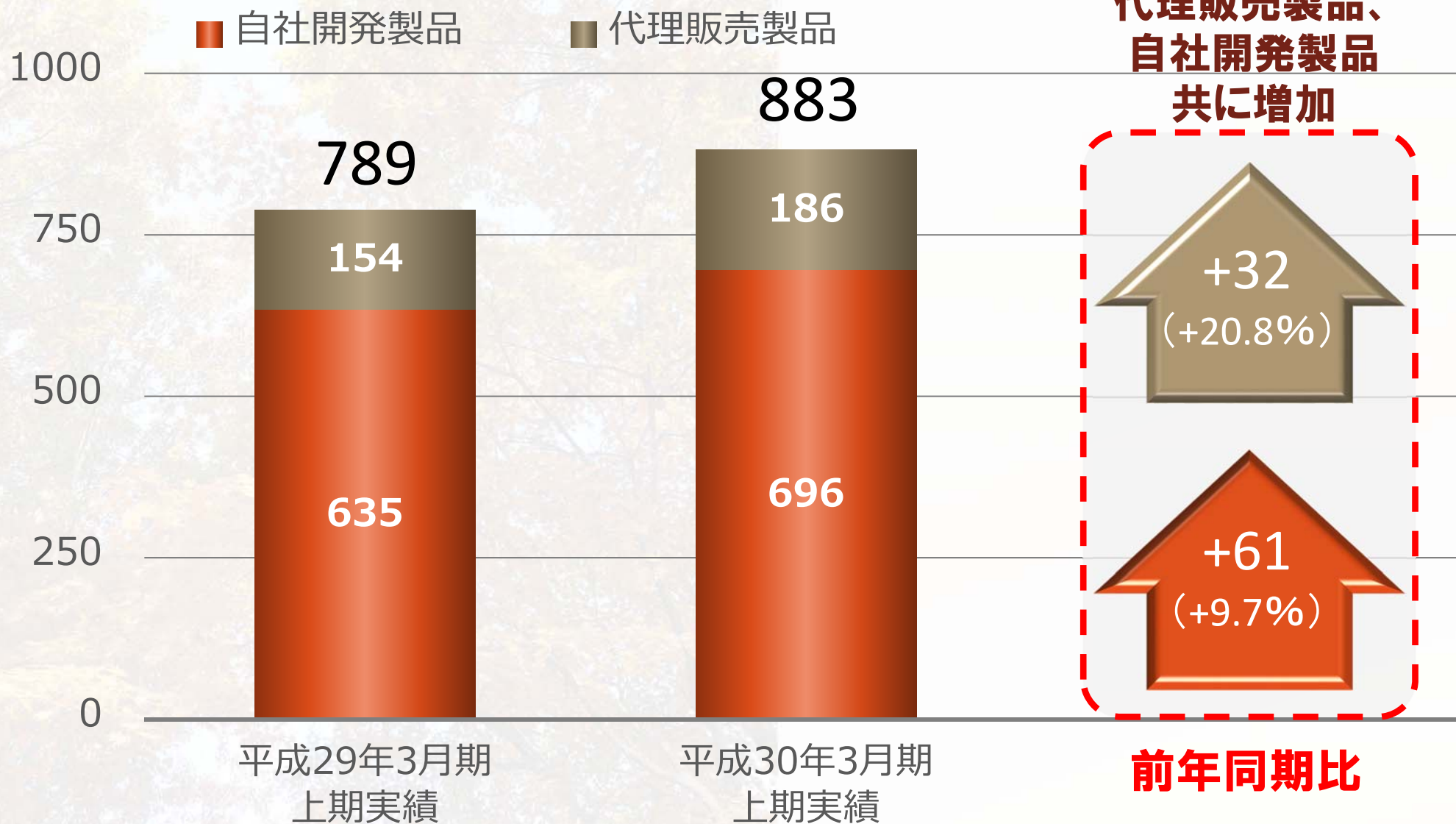
ソリューションが増加  
サービスは横ばい  
製品は減少



前年同期比

# 製品区分別売上高 (自社開発/代理販売) -前年同期比-

(単位：百万円)





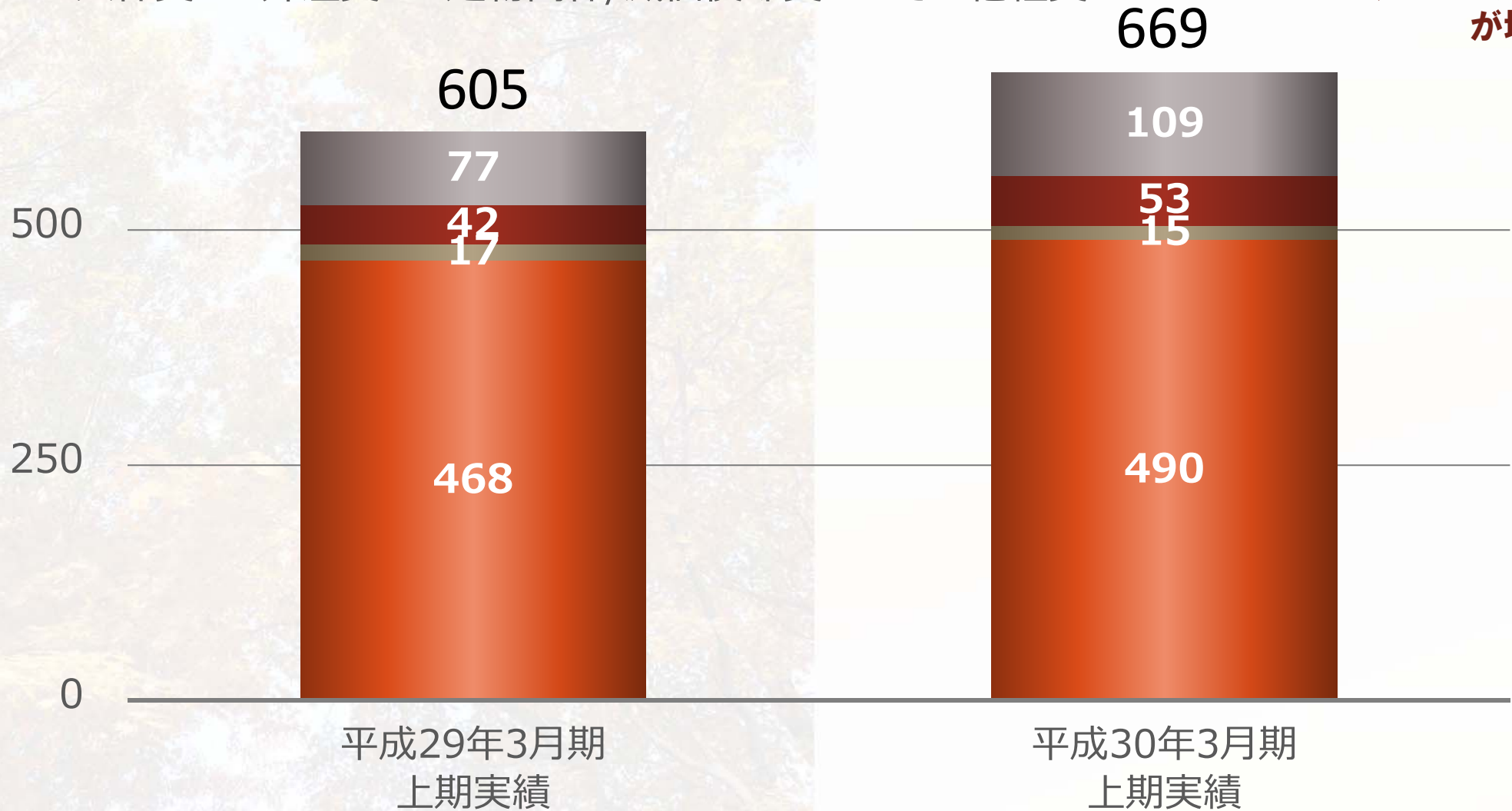
# 固定費内訳

－前年同期比－

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ 外注費 ■ 建物関係/減価償却費 ■ その他経費

人件費・  
建物関係/減価償却費  
が増加



## 国内

- ◆円安・スマホ需要の増加により業績が回復傾向へ
- ◆特にメモリ・センサー関連は好調を維持
- ◆業界再編は途上のまま 一時終息・・・
- ◆半導体設計委託の需要は引き続き旺盛

## 海外

- ◆中国：半導体・FPD事業には大規模投資を継続
- ◆台湾：中小型LCDパネルが復調傾向
- ◆韓国：有機ELパネル開発に集中投資



- ◆ 新主力製品「SX-Meister」の開発に注力
  - ◆ Ver.3.0をリリース：新主力製品の標準機能が完成
  - ◆ プライベートセミナーを開催：Ver4.0以降の構想を発表
  - ◆ ISO9001取得に向けた活動を開始
- ◆ ソリューション事業を拡張
  - ◆ 半導体設計者の更なる増員
  - ◆ EDAアウトソーシングが伸長し売上に寄与
- ◆ 代理販売品を拡販
  - ◆ 回路解析製品（SimuPlus社製）の販売が順調
  - ◆ IP検証製品（Fractal社製）も売上に寄与
- ◆ 事業所の移転
  - ◆ 熊本事業所の移転完了（8/17）
  - ◆ 本社移転完了（10/30）





1. 平成30年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 平成30年3月期 通期予想

## ◆ EDA開発事業

### ◆ 新主力製品「SX-Meister」の開発に注力

- ◆ 匠データベース、匠マネージャーの開発
- ◆ パラメトリック要素回路、設計自動化機能を優先開発

### ◆ パワー系・パネル系メーカーへの拡販活動

- ◆ パワーデバイス解析製品、異形パネル自動設計製品の開発・提案活動
- ◆ 解析受託サービスの拡販活動継続

## ◆ 代理販売事業

### ◆ 競争力がある製品を活用して新規顧客層を拡大

- ◆ 回路解析系製品、ノイズ解析系製品 (ProPlus社製) → メモリ分野へ
- ◆ IP検証系製品、ECO製品 (Dorado社製) → デジタル分野へ



## ◆ ソリューション事業

### ◆ EDAアウトソーシングの業容を維持継続

- ◆ 社内外のリソースを有効活用

### ◆ 設計受託サービスの拡張

- ◆ 従来の半導体設計受託に加え、FPD設計受託を開始
- ◆ 「ターン・キー」ビジネスの模索活動

## ◆ 海外向け事業

- ◆ 重点国、重点製品分野にフォーカスして集中的に活動

## ◆ 新規ビジネスの模索

- ◆ クリーンエネルギー検査・遠隔監視
- ◆ ロケーション管理
- ◆ 工場IoT（パトライト監視システム） etc.



1. 平成30年3月期 第2四半期決算概要
2. 下期拡販戦略と今後の取り組み
3. 平成30年3月期 通期予想

**新主力製品「SX-Meister」の開発・拡販に注力**

**海外向け販売体制の強化**

**ソリューション・ビジネスを更に拡大**

# 通期予想 - 前年同期比 -

(単位:百万円)	平成29年3月期 実績	平成30年3月期予想	
		期初計画	前年同期比
売上高	1,694	1,950	+15.0%
営業利益	174	150	△14.1%
経常利益	187	150	△19.9%
当期純利益	178	100	△44.0%



A background image of autumn foliage, showing trees with leaves in shades of yellow, orange, and red against a clear blue sky.

ご清聴ありがとうございました